

合法証明木材等に関する国際シンポジウム 2010
違法伐採問題に対処する日本の取組第三部報告

氏名：デビッド・J・ブルックス
講演タイトル：違法伐採と関連取引に対抗する米国の取り組み
<p>講演概要</p> <p>米国は持続可能な森林管理の推進活動、ならびに違法伐採と関連取引が経済と環境にもたらす結果について世界的関心を喚起する活動を主導してきた。</p> <p>米国ではこの問題に対し、通商代表部（USTR）を先頭に、貿易関連の取り決めを通じて対応してきた。それは次のような多数の革新的取り組みに見ることができる。米国・インドネシア貿易投資枠組協定のもとで交渉が行われたインドネシアとの二国間合意、米中戦略経済対話のもとで交渉が行われた中国との二国間合意、米国・ペルー貿易促進協定の森林部門のガバナンスに関する付属書、合法的な方法で収穫された森林製品の取引促進に関するアジア太平洋地域対話である。</p> <p>こうした取り組みに共通する要素は、関連省庁間を中心とした協議、市場と取引に関する情報の改善など透明性の問題、能力強化、営利団体および NGO の両方を含めた民間セクターと政府のパートナーシップ、義務の強化などである。</p> <p>これらの取り組みを補完するため、米国は 2008 年、レイシー法を改訂した。レイシー法は約 100 年前に制定された、不正取引防止のための法律である。保護植物の違法採取と取引の阻止へ向けた、米国各州ならびに他国による施策を支援する実践ツールを提供することを目的としている。</p>

プロフィール

氏名	デビッド・J・ブルックス
肩書き	天然資源環境管理局長
所属	米国通商代表部
略歴	デビッド・J・ブルックスは、米国通商代表部（USTR）の環境天然資源室において、野生生物取引、貿易協定の森林および環境検査など非常に多様な天然資源政策問題を扱っている。USTR 入部前は、米国農務省林野局で科学的研究員、科学チームリーダーを務めた。トリニティ・カレッジ（コネチカット州ハートフォード）、メイン大学、オレゴン州立大学にて学位を取得。

